

たいとうアイデアソン2022 開催レポート

台東区 企画財政部情報政策課

たいとうアイデアソン2022 運営事務局

目次

1 たいとうアイデアソン2022について

- 1-1 「アイデアソン」とは
- 1-2 「アイデアソン」を開催する目的
- 1-3 たいとうアイデアソン2022 開催概要

2 たいとうアイデアソン2022で提案されたアイデア

- 防災1 地震・風水害時の避難方法の周知
- 防災2 家庭内の備え（自助）の啓発
- 防災3 集合住宅（マンション）のソフト対策の推進
- 産業1 事業承継や若者・女性など多様な人材の確保・育成
- 産業2 新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動や消費動向の変化への対応
- 産業3 事業者間の連携促進による、新たな経済活動の創出と地域の活性化

3 意見交換会

- 3-1 意見交換会について

4 まとめ

1 たいとうアイデアソン2022について

1-1 「アイデアソン」とは？

アイデアソンとは・・・

「アイデア」



と

「マラソン」



を組み合わせた造語で、特定のテーマについて
グループ単位でアイデアを出し合うイベントです。

**たいとう
アイデアソン
2022**

みんなで集まる、進める、デジタル台東

台東区が持つ地域課題解決のために、オープンデータを活用して、
これまでになかった新しいアイデアやデジタルサービスを提案するアイデアコンテストを開催します。
様々な業種・地域住民の方々と交流できるこの機会にぜひ参加してみませんか？

テーマ
「地域防災の課題を解決するデジタルサービス」
「中小企業の課題を解決するデジタルサービス」
※テーマはどちらかを選択

令和4年8.28日 & 9.11日
両日も午後1時から5時

【対象者】台東区の地域課題の解決に関心のある方々
両日共参加できる方に限ります。
【開催方法】Zoomを利用したWeb会議形式で開催します。
【参加料】無料

広報チラシ

1-2 「アイデアソン」を開催する目的

■目的① 地域課題の解決

台東区の地域課題を解決する「新たなアイデア」や「デジタルサービス」の提案

■目的②オープンデータの利活用推進

オープンデータの必要性を多くの人に知ってもらう

+

新たなオープンデータの公開を進める。

1 たいとうアイデアソン2022について

1-3 「たいとうアイデアソン2022」開催概要

令和4年8月28日（日）と9月11日（日）の2日間にわたって、Zoomを利用したWeb会議形式で開催しました。



■当日の流れ

- 解決したい分野の課題ごとにグループ分け
- 情報収集
- 議論
- 「**地域課題を解決するデジタルサービス**」の発表

1-3 「たいとうアイデアソン2022」開催概要

【開催テーマ】

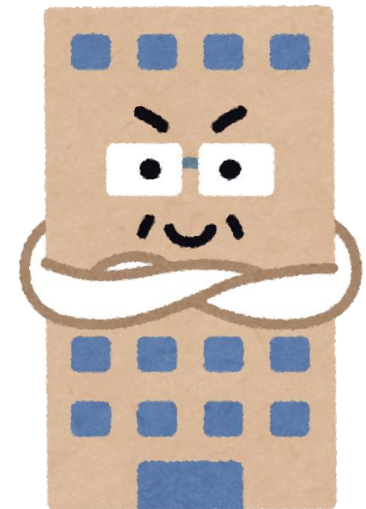
防災分野：**地域防災**の課題を解決するデジタルサービス

- 課題① 地震・風水害時の避難方法の周知
- 課題② 家庭内の備え（自助）の啓発
- 課題③ 集合住宅（マンション）のソフト対策の推進



産業分野：**中小企業**の課題を解決するデジタルサービス

- 課題① 事業承継や若者・女性など多様な人材の確保・育成
- 課題② 新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動や消費動向の変化への対応
- 課題③ 事業者間の連携促進による、新たな経済活動の創出と地域の活性化

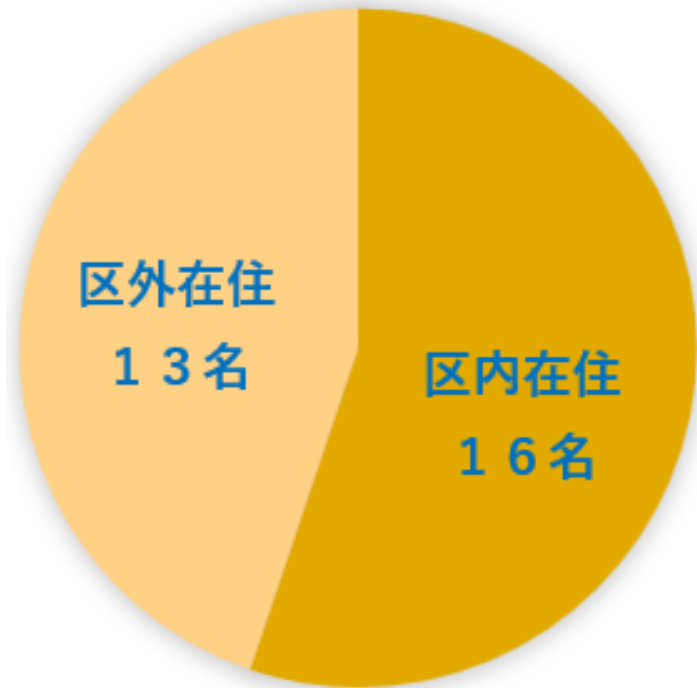


1 たいとうアイデアソン2022について

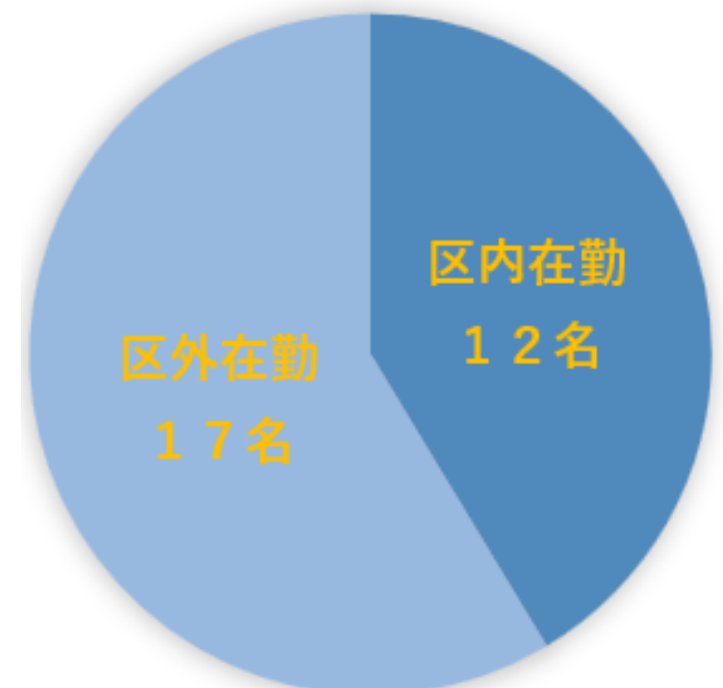
1-3 「たいとうアイデアソン2022」開催概要

29名の台東区の地域課題解決に関心のある方々に参加していただきました！

【住まい】





【勤務地】



1 たいとうアイデアソン2022について

1-3 「たいとうアイデアソン2022」開催概要

【開催スケジュール】

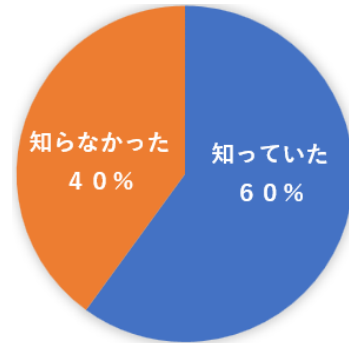
1日目	アイデアソンの趣旨説明	
	課題についての情報提供(区の担当課から) 課題ごとにグループを決め、情報収集&ディスカッション	
2日目	グループ内で個人のアイデアを共有し、1つのアイデアに絞る	
	絞ったアイデアのブラッシュアップ	
	グループで考えたアイデアの発表	
	講評 チーム内でのアイデアソン振り返り	

1 たいとうアイデアソン2022について

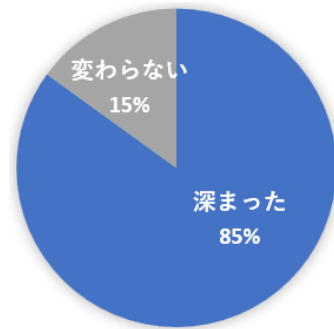
1-3 「たいとうアイデアソン2022」開催概要

【参加者アンケート結果】

40%の方が、参加するまでオープンデータを知らなかったと回答しました。



85%の方が、参加してオープンデータへの理解が深まったと回答しました。



【主な意見】

- ・ 様々な方の意見が聞けて、**リアルな意見交換**ができてよかった
- ・ **区のために何かできるのか**を話し合えたことは、有意義だった
- ・ 台東区が**問題意識**を持っていることを知れた

2 提案されたアイデア・デジタルサービス

防災① 地震・風水害時の避難方法の周知

台東QUEST～災害時の混乱を無くしつつ、勇者は町民を救え！～

サービス概要

- 台東区を歩きながら避難行動を体で学べる脱出ゲームアプリ
- 子供が参加しやすいようにゲーミフィケーション
 - 正しい選択を行うスコアを競う（安否確認）
- 対象 子供（+保護者） 台東区の小学校にはタブレットが配布
- 広げ方 まずは狭い範囲で初めてそこから広げていく
 - 台東区住民 ⇒ 台東区 ⇒ 東京都

必要なオープンデータ

- 課題を可視化するデータ
 - 地域危険度測定調査
 - 住民属性データ
- 解決に役立つデータ
 - 避難場所、避難所、一時集合場所
 - フリーWi-Fi
 - 公衆電話の位置情報
- こんなデータが新たに必要
 - 台東区観光スポットデータ
- オープンデータにしてほしい！
 - 建物（形・構造）、道路データ

Before そのアイデアがない世界

「頭で覚える防災」
 地震時や水害時に避難行動がわかりにくい
 知識として知っていても緊急時にとっさに行動に移せない（≒英語）

After アイデアがもたらす変化

「体で覚える防災」
 体験と一緒に覚える＝頭ではなく体で覚える
 いかに周知してもらうか⇒いかに身につけてもらうか

2 提案されたアイデア・デジタルサービス

防災② 家庭内の備え（自助）の啓発

備蓄品の見える化で、家庭内の災害備蓄普及率向上

サービス概要

- 災害対策の備蓄品の「賞味期限や個数」を地図上に明示し、総量比較
 - 台東区防災アプリと連動させる

- 各家庭 9月の防災月間に毎年イベント開催、特別割引でいずれかで購入
 - 備蓄食品サブスク（例：定期便、推奨食品セット）
 - 町内会経由

- 備蓄賞味期限の半年前になったら「お知らせ」通知
 - 防災月間に合わせて防災・減災意識向上と、備蓄品を持ち寄っておいしく食べるイベント&困窮家庭などに配布（SDGs、フードロス対策）

必要なオープンデータ

- 備蓄品の数量一覧
- 備蓄品の賞味期限の一覧

Before そのアイデアがない世界

備蓄に関する意識が高まらない
 効率利用ができずフードロスが起こってしまう

After アイデアがもたらす変化

町会が一体となって防災・減災に取り組み、
 台東区で安心して暮らせる世界
 困窮世帯にも備蓄品で助け合うwell-beingな世界

2 提案されたアイデア・デジタルサービス

防災③ 集合住宅（マンション）のソフト対策の推進

リアルな町会とつながるバーチャル町会を集合住宅ごとに提供

サービス概要

- 人の手を介さない形で最新の町会内のリストを生成
- Gamificationを利用した防災訓練・備蓄資材管理
 - 備蓄資器材はどこ？⇒現場でQR読むとポイントGET！
 - AR防災訓練は24時間できる。内容ごとにポイントGET！
- 備蓄食を一緒に食べる会/備蓄品共同購入によりマンション内での交流メリットを提示

必要なオープンデータ

- 集合住宅の一覧（所属町会含む）

Before そのアイデアがない世界

1. 居住者同士の繋がりが希薄
 2. 防災計画が未作成
 3. 備蓄資器材の取扱方法を知らない
 4. 防災訓練が実施されていない
- いざという時の危機感がない中では、とりくめない

After アイデアがもたらす変化

地域と集合住宅の最新情報を共有して安心して過ごせる
 居住者・地域のつながりを深めて楽しく防災の備えを進める

産業① 事業承継や若者・女性など多様な人材の確保・育成

商店街事業承継ドラフト会議

サービス概要

- 地図情報に商店街の空き店舗や、その外観・スペック・入居条件などがまとめられているプラットフォーム。
- その店舗に欲しい事業や承継者像を明らかにし、合意形成するGM的存在（商店街主）と、スカウト（区議会議員）する機能。
- クリエイターや若者・女性といった事業承継の潜在層にとって面白がってもらえるコンテンツ情報を地図にマッピングできる。

必要なオープンデータ

- 商店街の空き店舗情報
 - ・外観などの写真データ
 - ・スペック
 - ・入居条件
 - ・ほしい事業
 - ・ほしい承継者像

Before そのアイデアがない世界

高齢化する店主が困惑している商店街の雰囲気

After アイデアがもたらす変化

若い人や新しい人が入ってきやすい、開かれた雰囲気の商店街

2 提案されたアイデア・デジタルサービス

産業② 新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動や消費動向の変化への対応

新たなオープンデータによる、“台東区 人流データ収集・活用プラットフォーム”

サービス概要

- データ収集
 - 台東区内の各エリアの人流と属性（性・年代など）をデータとして収集
 - 手段：商店街などのカメラ、MAP検索情報、各商店街HPなどを共有
⇒集めたデータを新たなオープンデータとして活用
- 準人流データを可視化して提供（名称案：たいとうモビリティINDEXダッシュボード）
 - 収集・集計した人流情報に準じた情報を可視化し、参加企業に提供
- データ活用環境の提供
 - 将来的に、AIによる将来予測を行える分析環境を提供。
 - 区認定のサポーターによる支援と教習を実施。

必要なオープンデータ

- 区内各エリアの人流・属性データ
 - ・商店街のカメラやMAP検索情報、商店街HPの情報から収集
- 区内施設リスト
 - ・区有施設
 - ・飲食店
 - ・喫茶店
 - ・宿泊施設
- 小売店リスト

Before そのアイデアがない世界

小売・飲食・宿泊など、人の動きに左右される業種では、エリア来訪者の傾向、その消費動向の変化が見えない。経験や肌感覚に頼ると仕入れ・在庫管理、シフトなどでロスが増えがち。

After アイデアがもたらす変化

変化の発見や予測に基づいた、仕入れ・在庫管理、人員シフトにより経営効率が上がり、利益向上につながる。また、今後の商品、サービス開発の視差にもつながる。行政側も産業指標として活用。

2 提案されたアイデア・デジタルサービス

産業③ 事業者間の連携促進による、新たな経済活動の創出と地域の活性化

～台東区の魅力あるモノに台東区で出会う～ 新しい挑戦を促す出店者側に向けたサービスと購買層に向けたデジタルサービス

サービス概要

- EC機能とリモート接客機能を兼ね備えた国内外デジタル販売支援サービス
 - 作り手の思いや製品の本当の魅力がリアルに近いコミュニケーションで双方向で伝わる。
- 売り手と空き店舗をつなぐマッチングサービスを用意
 - 店舗は商店街の空き店舗などを使うことも可能だし、工場に置くことも可能。思わずSNSでシェアしたくなるようなスペースにすることで拡散を狙う。
- 街とのマッチングを実現する、横断的デジタル販売支援プラットフォーム

必要なオープンデータ

- 人流データ
 - ・出店したい人、出店させたい人のデータベース
- 空き店舗の情報（立地等）
- エリアのデータ

Before そのアイデアがない世界

集客、魅力ある店づくり、売り手と買い手のミスマッチ、商品と出会う機会がない、欲しいタイミングで買えない等、本当に消費者が求めることは何かデータで収集できていない

After アイデアがもたらす変化


デジタルを使って出店促進と集客をすることでデータを収集し、魅力のある店作りに活かす。サービスの向上につなげ、そうした魅力ある実店舗が多く集まることによって、魅力ある街づくりを実現する。

3 意見交換会


3-1 意見交換会について

たいとうアイデアソン2022に参加した方の中から、アイデアソン参加の感想や、提案されたアイデア実現に向けての意見交換を目的に、意見交換会を開催しました。

【主な意見】



アイデアソンでは、アイデア出しまではできたがオープンデータの活用まで話がまとまらなかった。

- 
- ・アイデア実現には、**区が主体的に実行していく**必要がある
 - ・**各主体と連携することが大事**で、モデルケースを作るのが肝だ
 - ・データ所有者や区所管課と**意見交換できる場**がほしい

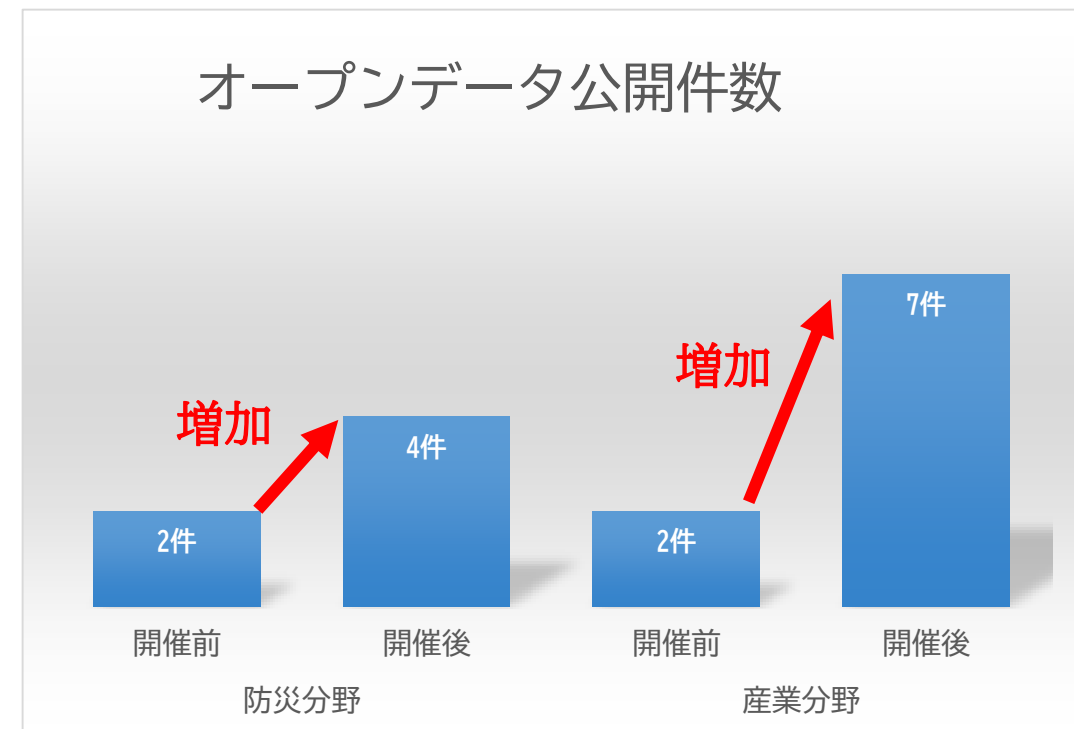
4 まとめ

4-1 オープンデータの公開について

- 区では、アイデアソンで提案されたオープンデータの公開を進めています。
- アイデアソンで提案されたアイデアについてもオープンデータとして公開しています。

【アイデアソン以後公開したオープンデータ】

防災分野	自主及び緊急避難場所、緊急滞在施設一覧
	避難所施設一覧
産業分野	台東区優秀技能者一覧
	台東区伝統工芸職人一覧
	江戸創業事業所顕彰 被顕彰事業所一覧
	手作り工房マップ 掲載アトリエ店舗
	ザッカデザイン画コンペティション審査結果

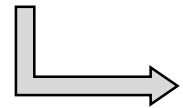


4 まとめ

4-2 台東区のオープンデータの取り組みについて

【台東区のオープンデータに関する取り組み】

区では、オープンデータの拡充を進めています。



区が保有するデータを誰もが二次利用しやすい形で公開し、民間企業等が新たなサービスを創出する際に自由にご活用いただけるデータ

これからも積極的にオープンデータを拡充し、区民の利便性向上、協働の推進に繋げていきます。

詳しくは区ホームページをご覧ください。



区ホームページ

